

令和7年度中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に選定した団体及び個人

No.	県	市町村	団体名/氏名	部門	取組の概要
1	鳥取県	日南町	しろいたに 白谷工房	ビジネス・イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年設立。廃保育園をアトリエとして、建物・家具等の木の廃材を利用した寄せ木細工のアクセサリーや生活雑貨、文房具などを製作・販売。 ・都市部の企業等と連携した商品開発を行う等中山間地域と都市部をつなぎ、地域産業の創出にも貢献。 ・寄せ木細工のワークショップを開催し子どもから大人まで森林教育(木育)を実施、近年はSDGs教育や修学旅行受入等も行い、森林資源の価値を見直す活動を推進。 ・令和6年度の寄せ木細工販売額は2,815万円、ワークショップ体験者数は400人。
2	島根県	大田市	株式会社さんべ開発公社	ビジネス・イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> ・「天空の朝ごはん」は平成28年から開始。閉鎖したスキー場のリフトを活用し、日の出前に標高854mの三瓶山の太平山に登る。地元飲食店など10事業者が連携し地元食材を使った朝食を山頂で提供し、人気を集める。 ・令和5年からは夜のイベント「天空の星降るリフト」も実施。 ・三瓶山のわさび田見学・わさび飯ランチ、石見神楽団との交流、GI認証を受けた在来種の三瓶そば畑や田園風景を巡るE-BIKEガイドツアーなど、新しい企画を次々と始動。 ・令和6年度のイベント開催数は36回、売上額は586万円。
3	岡山県	西栗倉村	おおがや 大茅地区活性化協議会	コミュニティ・地産地消	<ul style="list-style-type: none"> ・大幅な人口減と高齢化進展受け「地域に誇りを持ちいきいきと暮らす」を目標に平成27年に設立。 ・源流の自然を生かし関係人口を生み出そうと「花と文化のふるさとづくり」の活動として、棚田の法面や畦道へ芝桜の植栽を継続。 ・平成27年整備の「おおがや芝桜公園」の集客を目的に、夏休み親子川イベント、押し花教室、女性部による昼食会、学生の受入など実施。史跡巡りMAP作成や古文書の保護活動などの文化活動も行う。 ・これら中山間地域活性化の取組に他地域からの視察も多い。 ・令和6年度の来訪者は6,500人。
4	広島県	庄原市	広島県立庄原実業高等学校	ビジネス・イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> ・香港への梨輸出に取り組む中、輸出できない規格の梨が多く、その活用方法を研究。 ・梨の果皮に果肉の約12倍のポリフェノールが含まれることから、機能性成分を生かした加工品の開発を目指した。 ・食酢製造を130年以上続ける地元醸造会社と連携し果実酢の製造を行い、飲むお酢「庄原梨Vinegar」を完成。 ・消費者の評価や生産者の所得の向上に向け継続して検討し、地域ブランドとしての定着、地域の梨農家が輸出を目指す体制づくりを推進。 ・令和6年度の香港向け梨輸出量は155kg、GAP認証梨酢の販売数量は120本。
5	山口県	山口市	株式会社ときつ養蜂園	ビジネス・イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年創業。ケミカルフリー環境で残留農薬不検出の高品質なはちみつを生産し、加工・直接販売。周辺の農地・山地では多様な作物を育ててミツバチに優しい環境と里山の再生にも取り組む。 ・古民家を活用し、「滞在型ミツバチ体験」を提供。 ・耕作放棄地を再生し、農薬・化学肥料不使用の農産物を生産。 ・事務作業にAIを活用して自動化し、人はミツバチ作業・農作業に専念。 ・小中学校での出前授業を継続。社員全員で、草刈・清掃などの地域ボランティア活動を実施。 ・令和6年度のハチミツの生産額は3,600万円、来訪者は10,000人である。

令和7年度中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に選定した団体及び個人

No.	県	市町村	団体名/氏名	部門	取組の概要
6	徳島県	小松島市	徳島県立小松島西高等学校 TOKUSHIMA雪花菜工房	コミュニティ ・地産地消	<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業や漁協など地域の様々な関係者と連携し、徳島県南部をはじめ海の課題解決に部活動として取り組む。 ・沿岸の磯焼けの原因の一つである未利用魚に注目。その中のブダイを活用した「金のブダイカレー」を開発し、県内のマルシェやイベント等で販売。地元の規格外農産物を活用するなど、食品ロス削減にも貢献しており、その売上の一部を藻場再生活動に寄付し、環境保全活動にも貢献。 ・藻場のCO₂吸収量可視化のためAI搭載水中ドローンを導入し、調査時間を1週間から半日に短縮、費用も6分の1に削減。この成果をもとに、全国の高校生として初めて「Jブルーカーボンプレジット」を申請・受理された。
7	徳島県	神山町	徳島県立城西高等学校神山校「まめのくぼ」プロジェクトチーム	コミュニティ ・地産地消	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の耕作放棄地「まめのくぼ」の諸課題を環境と食農の観点で解決を目指す高校生主体の取組。2019年3月に結成し、役場、地元の団体・企業、農業者等も参加。 ・「まめのくぼ」の一部を借受け再生に取り組む。在来種の小麦・そば、茶を栽培し、加工販売するなど6次産業化にも取り組んでおり、一部商品は県認定の「とくしま特選ブランド」に選定。 ・石積みや伐採技術を受け、それを活かした環境整備も実施。間伐材を薪などに活用し「とくしま生物多様性活動認証」も取得。 ・令和6年度で25aを再生、小麦・煎茶の販売額は14万円を達成。
8	香川県	三木町	岸田 智子	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・野草専門の自然栽培農家で3haの農地で牧草栽培による土地活用モデルを実践。 ・かつて薬草として重宝され、非常に軽量で高齢者や女性に扱える作物としてウマブドウに着目。 ・耕作放棄地で食害の少ないウマブドウと牧草の自然栽培方法を確立し、有機JAS認証を取得。 ・ウマブドウは、健康茶(ノンカフェイン、高ポリフェノール)、生果(日本唯一)、酢漬・冷凍等加工品、馬牛用飼料として販売。 ・ウマブドウ等山野草は、地元の学校等と連携した収穫・加工体験等の学習イベントを定期開催。
9	愛媛県	西条市	NPO法人うちぬき21プロジェクト千町棚田チーム	コミュニティ ・地産地消	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人は平成12年に設立。令和3年から千町棚田チームを結成。市民、西条農高、地域企業、子ども食堂等の他NPO法人及び西条市と連携。 ・耕作放棄地を再生して、米、梅、ゆず、山菜(ワラビ、ミウガ、フキ)を栽培。加工にも取り組む。 ・放置竹林を西条農高生と整備。竹の有効活用のため竹の灯籠、風鈴、ミニ門松や、年5回の農業高校レストランで使用する器・箸を製作。 ・石垣修復、棚田ライトアップ等のイベントや年5回の環境学習会による啓発等の各種活動を実施。 ・令和6年度における耕作放棄地再生面積1.7ha、放置竹林整備面積0.38ha。
10	高知県	安芸市	有限会社はたやま夢楽	ビジネス・イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県の地鶏「土佐ジロー」を肉用として飼育・加工し、全国の飲食店や個人消費者へ販売。平成16年から行政所有の温泉宿を指定管理し、令和4年には自社で宿泊施設を建設。 ・取引希望者に産地や特徴を知ってもらった上で、納品する仕組みを作成。 ・焼き鳥店店主による土佐ジロー宿泊(生体の講話、串打ち体験等)の開催を経て、常時提供できる講座付きの宿泊プランを開設。 ・関係者と連携した料理、森林浴各種等イベント、インターン生の受入、移住者の雇用等も実施。
11	高知県	安芸市	安芸「釜あげちりめん井」楽会	コミュニティ ・地産地消	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年に設立し12団体21名で活動を開始。現在の構成員は25団体41名。安芸沖で獲れるちりめんじゃこなどの地域食材をPRすることにより、地域産業の振興や郷土愛の向上を図る取組。 ・平成25年以降、じゃこサミットを開催し安芸市をじゃこの聖地として全国へPR。 ・パンフレットなどの設置、配布、SNS等の活用により店舗を紹介。親子で楽しめるじゃこ文具等のグッズ作成、出店販売、着ぐるみ活動、出前授業、県外との交流も実施。 ・毎月15日を「じゃこの日」として制定。のぼりなどを作成。毎月15日には保育・学校の給食でじゃこ料理を提供。